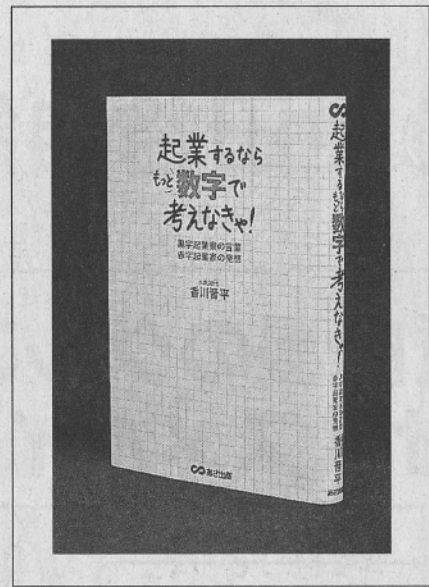


関西弁で成功のヒント



香川晋平著

起業するならもっと数字で考えなきゃ！

著者は尼崎市で会計事務所を運営する公認会計士であり、税理士でもある。本書は「数字で考えなきゃ！」シリーズの第4弾。これまでは読者の照準を従業員に定め、「仕事」「営業」「リーダー」をテーマに扱ったが、今回は「起業」を主題に据えた。過去のシリーズ作と同じく、

機知に富む関西弁のアドバイスが並ぶ。相談にやってきた依頼主との間で交わされたやりとりや、著者が実際に耳にした第三者同士の会話などをもとに、起業を成功に導くためのポイントをまとめた。

起業から成長軌道に乗せるためのステージを、構想▽準備・手続▽資金調達▽事業運営▽事業拡大の5段階に分け、本作もそれに準じて5章で構成されている。

ひょうげん
選書

同業他社の事業モデルや品ぞろえをそっくり追従することを警告する。準備・手続きの段階では、節税の観点から「課税所得が400万を超えたところで会社にするねんで」との助言がありがたい。

資金調達を成功させる要点として挙げたのは、助成金と補助金の違いだ。要件を満たせば給付される助成金に対し、予算枠がある補助金は審査に通る必要がある。いずれも基本的に後払いで、事業報告のための書類を作成・提出し、資金使途に関する検査を受けた後によりやく入金される。例えば補助率が3分の2で、200万円の給付を受

けるためには、「先に300万円以上は使わなアカンねんで」と説く。

事業運営、事業拡大の各段階でも、「儲けたいなら、商品3分に売り7分」「その仕事は、今月のか？ 3カ月先のか？ 1年先のか？」などに留めておくべき金言が並ぶ。起業家支援の現場で培った経験と知恵に裏打ちされており、説得力がある。各項目とも3、4ページですぐに読み切れる。起業を目指す人、起業して間もない人にとって、そばに置いておきたい一冊だ。

評者||大久保育・経済部
(あさ出版・1512円)